

花育マスターさんの活躍

ACP 講師でもある花育マスターさん



※左から順に
みどりデザイン研究所「ごんだいらあやこ」さん
アロマレーヌ「真木美智代」さん
アトリエハーロム「中山正子」さん



詳しくは新潟市の HP
「アグリ・ケア・プログラム」
をご覧ください。

「アグリ・ケア・プログラム(ACP)」園芸編

※以下 ACP と表記

障がいのある人が農業や園芸活動を通して生き生きと楽しみや趣味を広げて前向きに生活できるように新潟市と各種専門機関で作ったプログラムのことです。①野菜・土づくり ②園芸 ③動物 との関わりを通して起こりうる「癒し」の力を活用することが目的です。新潟市の自然や社会資源を活かし、一年の季節感を大切に、人間の五感(見る・触る・聴く・味わう・嗅ぐ)を刺激することを特徴としています。今回は、②園芸の活動で「ACP の講師」としての講習を受けてきた花育マスターさんの活動にお邪魔しました。



【Garden 野花の便り】

こんなプログラムもあります。
【ボタニカルなキャンドルづくり】
【Garden 野花の便り】
【香りのガーランドづくり】
【クリスマス森のサンタさん】
【ハーブ香りのお雛さま】

7月上旬に開催された【ラベンダーとおそばう】 雨上がりのムシとした気候の中、風が吹くと香る紫色の花満開のラベンダー畑はそれだけで癒されます。今回、3名の講師の指導で、「十字園」と「あすなろ福祉園」の約10名の利用者さんが参加し、香りを楽しみながらラベンダーを収穫する作業をしました。「他の活動と何が違うのか？」という、指導者の対応が最初から最後まで「丁寧」「キメがこまやか」「自由・臨機応変」。このプログラムは事前に福祉施設の担当者と現場での打合せを行い、予想される効果・配慮することの洗い出しなどの準備をし当日を迎えます。当日、畑脇の側溝をまたげず足踏みしている方がいれば、声を掛け手や肩を貸す。畑の中で歩いてもよい場所を説明だけでなく一緒に歩く。無理をさせていないが、危険はないが、常に1人1人に目を配る中「講師」対「参加者」というスタンスではなく、同じ目線で一緒に作業を楽しんでいるのが伝わり笑顔あふれるあっという間の時間でした。



在宅介護支援センター浜浦町主催

地域の人との交流編

堀川内科・神経内科病院の待合室で行われた「にこにこ浜浦町」。閉じこもり予防や心身共に活動性を維持することを目的に地域の人が気軽に楽しめる場として月1回開催し、様々なイベントを企画しています。花育マスターの金多賀倍工さんと清瀬弘美さんの指導のもと大人気の【フラワーアレンジメント】自分の番をまだかまだと待つ病院の待合室が緑と花の香りのお花屋さんに大変身。みなさん経験者なのか迷うことなく「やっぱり生のお花はいいわね」「どっちの向きがいいかしら？」とみなさん慣れた手つきで自由にアレンジを楽しんでいました。



太夫浜小学校 PTA 主催

学校での交流編

太夫浜小学校で行われた夏休み行事【アロマ教室】 fleuri* fleuri の渡邊ユリさんの庭で採れたハーブで「どうして植物からにおいがするの？」香りについてお勉強からスタート。数種類のアロマオイルから好みの香りを選び、虫よけスプレーと虫刺されレスキュージェルを作りました。苦手な香りも他のオイルと合わせると香りが変わり好きな香りになったりします。『好きな香りで作るほうが効果が高い』『妊婦さんや小さな子には注意が必要なアロマ』『虫よけスプレーの効率的なつけ方』作って終わりではなく、一緒に暮らす人のことまで気を配り実用的なアドバイスはさすがアロマのプロでした。



鏡淵ひまわりクラブ主催

学童保育ひまわりクラブ交流編

関屋小と鏡淵小の生徒が在籍するひまわりクラブで行われた【フォトフレーム作り】1~6年生約60人の大人数を教えてくれたのは Momi Bouquet の白杵ひとみさん。夏らしい造花や貝殻にブリザーブドフラワーをふんだんに使ったフォトフレーム。素敵な材料を目にして「え〜女子のやつじゃん」なんて言った男の子達も作り始めたら夢中！「くつつかない〜」と悪戦苦闘していても、茎を切ってみたり向きを変えたり、ポンドがダメならホットポンドと自分たちで工夫して完成させました。最後は子どもたちからお礼の手作りプレゼント！みんな笑顔の時間でした。

